

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】令和5年2月10日(2023.2.10)

【公開番号】特開2021-179673(P2021-179673A)
 【公開日】令和3年11月18日(2021.11.18)
 【年通号数】公開・登録公報2021-056
 【出願番号】特願2020-83255(P2020-83255)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 4 0 / 5 6 (2 0 2 0 . 0 1)

G 0 6 F 4 0 / 2 7 9 (2 0 2 0 . 0 1)

【 F I 】

G 0 6 F 4 0 / 5 6

G 0 6 F 4 0 / 2 7 9

10

【手続補正書】

【提出日】令和5年2月2日(2023.2.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プログラムを実行するプロセッサと、前記プログラムを記憶する記憶デバイスと、を有する文生成装置であって、

前記プロセッサは、

入力文を構成する単語列である1以上の要約要素を取得する取得処理と、

単語列の少なくとも一部を指定する1以上の指定要素によって文のひな型を構成する文生成テンプレートを参照して、前記取得処理によって取得された要約要素の単語列の少なくとも一部を指定可能な前記文生成テンプレート内の前記指定要素で指定することにより、出力文を生成する生成処理と、

を実行することを特徴とする文生成装置。

【請求項2】

請求項1に記載の文生成装置であって、

前記プロセッサは、

前記入力文を木構造解析して木構造解析結果を出力する木構造解析処理を実行し、

前記取得処理では、前記プロセッサは、前記要約要素を抽出する抽出ルールを用いて、前記木構造解析処理によって出力された木構造解析結果に基づいて、前記入力文から前記要約要素を抽出する、

ことを特徴とする文生成装置。

【請求項3】

請求項1に記載の文生成装置であって、

前記プロセッサは、

前記要約要素を修正する修正処理を実行し、

前記生成処理では、前記プロセッサは、前記文生成テンプレートを参照して、前記修正処理による修正後の要約要素の単語列を指定可能な前記文生成テンプレート内の前記指定要素で指定することにより、前記出力文を生成する、

ことを特徴とする文生成装置。

【請求項4】

20

30

40

50

請求項 3 に記載の文生成装置であって、

前記修正処理では、前記プロセッサは、前記要約要素の一部の単語列を削除する削除ルールに基づいて、前記要約要素の一部の単語列を削除する、
ことを特徴とする文生成装置。

【請求項 5】

請求項 3 に記載の文生成装置であって、

前記修正処理では、前記プロセッサは、前記入力文に含まれている複文の先行文を構成する第 1 述語を含む第 1 要約要素と、前記複文の後続文を構成する第 2 述語を含む第 2 要約要素と、について、前記第 1 述語の時制と前記第 2 述語の時制とが異なる場合、前記第 1 述語の時制を前記第 2 述語の時制に変更する、

10

ことを特徴とする文生成装置。

【請求項 6】

請求項 3 に記載の文生成装置であって、

前記修正処理では、前記プロセッサは、前記入力文に含まれている複文の先行文を構成する第 1 述語を含む第 1 要約要素と、前記複文の後続文を構成する第 2 述語を含む第 2 要約要素と、について、前記第 1 述語が肯定形であり、かつ、前記第 2 述語が否定形である場合、前記第 1 述語を否定形に変更する、

ことを特徴とする文生成装置。

【請求項 7】

請求項 3 に記載の文生成装置であって、

前記修正処理では、前記プロセッサは、前記入力文に含まれている複文の先行文を構成する第 1 述語を含む第 1 要約要素と、前記複文の後続文を構成する第 2 述語を含む第 2 要約要素と、について、前記第 1 述語が断定形であり、かつ、前記第 2 述語が仮定形である場合、前記第 1 述語を仮定形に変更する、

20

ことを特徴とする文生成装置。

【請求項 8】

請求項 3 に記載の文生成装置であって、

前記修正処理では、前記プロセッサは、第 1 入力文に含まれる特定の名詞の第 1 単語列と、前記第 1 入力文に後続する第 2 入力文に含まれる照応詞の第 2 単語列と、が照応することを検出し、前記第 2 単語列を、前記第 1 単語列に変更する、

30

ことを特徴とする文生成装置。

【請求項 9】

請求項 3 に記載の文生成装置であって、

前記修正処理では、前記プロセッサは、第 1 入力文に含まれる特定の名詞の単語列またはその照応詞が、前記第 1 入力文に後続する第 2 入力文に含まれていないことを検出し、前記特定の名詞の単語列を含む要約要素を、前記第 2 入力文の 1 以上の要約要素の集合に追加する、

ことを特徴とする文生成装置。

【請求項 10】

請求項 1 に記載の文生成装置であって、

40

前記プロセッサは、

前記出力文において 2 つの動詞が連結されている場合、先頭側の動詞の活用語尾を変換する変換処理を実行する、

ことを特徴とする文生成装置。

【請求項 11】

請求項 1 に記載の文生成装置であって、

前記プロセッサは、

前記出力文における主語と述語との関係に基づいて、前記述語内の動詞の活用語尾を変換する変換処理を実行する、

ことを特徴とする文生成装置。

50

【請求項 1 2】

プログラムを実行するプロセッサと、前記プログラムを記憶する記憶デバイスと、を有する文生成装置が実行する文生成方法であって、

前記文生成方法は、

前記プロセッサが、

入力文を構成する単語列である 1 以上の要約要素を取得する取得処理と、

単語列の少なくとも一部を指定する 1 以上の指定要素によって文のひな型を構成する文生成テンプレートを参照して、前記取得処理によって取得された要約要素の単語列の少なくとも一部を指定可能な前記文生成テンプレート内の前記指定要素で指定することにより、出力文を生成する生成処理と、

を実行することを特徴とする文生成方法。

10

【請求項 1 3】

プロセッサに、

入力文を構成する単語列である 1 以上の要約要素を取得する取得処理と、

単語列の少なくとも一部を指定する 1 以上の指定要素によって文のひな型を構成する文生成テンプレートを参照して、前記取得処理によって取得された要約要素の単語列の少なくとも一部を指定可能な前記文生成テンプレート内の前記指定要素で指定することにより、出力文を生成する生成処理と、

を実行させることを特徴とする文生成プログラム。

20

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 2 2】

(5) 上記(3)の文生成装置 200 において、修正処理(ステップ S503)では、プロセッサ 201 は、入力文 100 に含まれている複文の先行文を構成する第 1 述語(「配布し」)を含む第 1 要約要素 1313 と、複文の後続文を構成する第 2 述語(「説明した」)を含む第 2 要約要素 1315 と、について、第 1 述語の時制と第 2 述語の時制とが異なる場合、第 1 述語の時制を第 2 述語の時制に変更する。

30

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 2 4】

(6) 上記(3)の文生成装置 200 において、修正処理(ステップ S503)では、プロセッサ 201 は、入力文 100 に含まれている複文の先行文を構成する第 1 述語(「持ち出して」)を含む第 1 要約要素 1413 と、複文の後続文を構成する第 2 述語(「漏らさないでください」)を含む第 2 要約要素 1415 と、について、第 1 述語が肯定形であり、かつ、第 2 述語が否定形である場合、第 1 述語を否定形に変更する。

40

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 2 6】

(7) 上記(3)の文生成装置 200 において、修正処理(ステップ S503)では、プロセッサ 201 は、入力文 100 に含まれている複文の先行文を構成する第 1 述語(「持ち帰って」)を含む第 1 要約要素 1512 と、複文の後続文を構成する第 2 述語(「保存

50

すれば」)を含む第2要約要素1513と、について、第1述語が断定形であり、かつ、第2述語が仮定形である場合、第1述語を仮定形に変更する。

10

20

30

40

50